



西南学院講座 in Tokyo

人間科学におけるエヴィデンスとは何か—臨床と哲学のあいだ PART2

会 期 2015 年 9 月 26 日 (土) 13 時 15 分開始 (開場 13 時)

会 場 サピアホール (東京都千代田区丸の内 1-7-1 サピアタワー 5 階)

主 催 学校法人西南学院

定 員 150 名

参加費 3,000 円

講座の概要: 昨今臨床精神医学や臨床心理学を初めとする人間諸科学領域において質的研究が注目されています。これらの領域でもエヴィデンスが強調されてきましたが、その多くは自然科学でのエヴィデンスを踏襲したものです。自然科学においては研究する主体が誰であっても変わらないということが大前提ですが、生身の人間を対象に同じ生身の人間が研究するという人間諸科学でも同じように研究者はまるで黒子のように扱われ、人間同士の営みで初めて生まれる人間的な関わりそのものは真正面から取り上げられることはほとんどありません。今切実に求められているのは、自然科学と比較するなかで、人間諸科学におけるエヴィデンスとは何かを検討することです。そのことが曖昧であるがために、今日の人間諸科学そのものが人間を疎外するような事態を生んでいるのではないのでしょうか。このような問題意識のもとに今回の企画を立てました。本講座は、2 年前に開催し好評を博した西南学院講座 in Tokyo「臨床と哲学のあいだ」の第 2 弾です。

内容 (各講演 75 分)

講演 1: 本質観取と人間科学におけるエヴィデンス (西 研, 哲学者, 東京医科大学教授)

講演 2: こころの臨床における質的研究とエヴィデンス (山竹伸二, 著述家, 評論家)

講演 3: 精神 (心理) 療法におけるエヴィデンスとは何か (小林隆児, 児童精神科医, 西南学院大学教授)

鼎談と全体討論

問合せ 西南学院東京オフィス ☎ 03-5220-3737, FAX 03-5220-3838

メールアドレス tokyo@seinan-gu.ac.jp 詳細は下記へ

http://www.seinan-gu.ac.jp/tokyo_office/to_schedule.html